

大阪市教

2016年6月2日
VOL. 526

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪府中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990

青年が職場づくり 大阪市教は希望ある組合

第28回
定期大会



大阪市教は5月21日定期大会を開催。青年の発言が量も質も、大会参加者に感動を与え、大阪市教は未来ある組合であることが共有されました。参議院選挙で政治を変える意思統一も行いました。



港支部の青年は、支部執行委員会で出された青年の実態——青年教職員は朝早くから夜遅くまで学校に残って仕事をしているため、友だちの輪も少なく、とりわけ異性との出会いの場は少ない——ことから婚活パーティーの取り組みを報告。つながらない、素敵な異性を見つけたという要求にこたえる取り組みを引き続き取り組んでいきたいと話しました。

北大阪支部の採用 海遊館前で夏休み・毎月の戦争法反対の駅頭宣伝にも取り組んでいます。

市対連 貧困から子どもを守れ 市政転換求め開会日宣伝



市対連は5月13日市会開会日宣伝を行いました。大阪府教からも参加。国連児童基金(ユニセフ)は、最貧困層と標準的な層との格差を国ごとに分析



2年目の青年は、しんかんフェスタの昨年武田美穂さん、今年岡田淳さんの講演を聞き、読み聞かせや作者のサインを見て、子どもたちが目をキラキラ輝かせる姿を見ると、とてもうれしいと話しました。「そんな気持ちにさせてくれるこの組合を選んで本当によかったと思います。」「この青年は今年度支部執行委員となり、スキーのつどい、文化とバザー、平和のつどいに参加し、「組合に入ったからこの出会いが学びがたくさんありました。組合を通して



ではなんとなく広がっていき土曜授業、病休でいなくなる先生、講師が来ない、学校の予算がなくなる、そんなことが身近で起きています。何かしなければと何かかの青年の思いが広がり、とりあえず「学ぼう、つながろう」と居酒屋での学習会、飲み会を開

まきました。教育壊しをやめさせなアカンと意気投合。それから、ダブル選挙、戦争法案反対の取り組みも、それぞれがいつの日程で、学習会やデモに参加しました。

南大阪支部からは、中学校新採用1年目に対教師「暴力」を受けたこと、しかし、がんばり学校が落ちてきてきたこと、2年目には大変な分掌を担わなければならないこと、「ほかの先生方も苦しい思いをされているんじゃないか」と思っていること、と発言しました。

東南支部の代議員は、管理職に申し出て取得できなかった短期介護休暇を組合と相談することに

大阪の教育変えようや！ 5・22大阪教育集会



よって取得できた事例を紹介しました。また、「学校安心ルール」と同様の文書配布反対の取り組みを報告。適応できない子は排除する新自由主義統治の技法であることを学び、職場で訴え、一覧表はなくなり、簡単な文に変えること、「指導にあたっては子ども理解と原因把握に努めます」という一文を入れることになりました。「職場では自分が変わるのかと思ってしまう。女性部に行くことがエー」と言ってくれる。皆さんも組合役員になって下さい」と締めくくりました。

養護教職員部、幼稚園部、事務職員部、臨時教職員部、栄養教職員部、障害児教育部、女性部も発言しました。

生活保護費の拡充、就学援助制度の拡充など、貧困の厳しい大阪府において、子どもと市民を守る施策の充実が大阪府政に求められています。

市長と大阪府会との責任は重大です。市民施策削減の「新たな市政改革プラン」の策定はやめ市民の要求に応えるべきです。

校現場から、テストに縛られた生徒の実態、出版関係者から、編集段階・検定段階での統制など、教科書が限りなく「国定教科書」化していく危険性、教文

退職されたみなさんを囲む会 ありがとうございました



退職されたみなさんを囲む会を5月27日パル法円坂で開催しました。「32年前保育所に落ちました。保育運動にお世話になりました」「60歳まで勤められたのは組合のおかげ」「組合の会議に行けば元気が出た」と退職者の皆さんが語り、懇談が弾みました。

育鵬社不正疑惑 第三者委設置

侵略戦争美化、憲法改悪誘導の育鵬社教科書採択の際に、参考にした無記名の住民アンケートで同社版を推す回答が増やした「組織的動員があった」とする問題で、市会教育子ども委員会が5月19日、真相究明のための第三者委員会を設置するよう求める陳情書を賛成多数で採択しました。山本教育長は「採択を重く受け止め、第三者委員会の設置に向け、関係部局とも協議して検討したい」とのコメントを発表しました。

戦争美化の教科書を子どもたちにわたさない大阪府民の会

など多方面からの報告がありました。大阪府教の果たす役割の重要性を改めて感じました。

東大阪市では、育鵬社教科書を選んだ乾公昨教育委員長(当時)が、採択前に育鵬社社員と接触していた問題、野田義和市長が、採択の見返りとして、育鵬社の採択を進める企業や団体から、市長選の応援を受けていた可能性があることが、内部文書で明らかになっています。

5月18日には、市役所前で「野田市長の教科書採択への政治介入の疑惑を徹底解明せよ」「野田市長は疑惑を晴らす説明を」と市民宣伝が行われました。

- 「先輩のワザ伝授」絵本講座
・講師：鈴木健司さん
・6月10日(金)18:30
・難波市民学習センター (OCAT 4階)
- 障教研「よろず相談会」
・6月24日(金)19時
・アネックスパル法円坂
- 中学校分会学習交流会
・入試制度など
・6月29日(水)18:30
・アネックスパル法円坂